

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月26日更新

事務事業名		地域づくり団体活動支援事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	1	自治の健康				所属部	政策部	課長名	大茂 竜二	
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進				所属課	企画課	担当者名	加藤 大蔵	
	施策の柱	1	地域づくり(まちづくり)人材の育成				所属班	企画広報班	(内線)	1254	
予算科目		会計一般	款2	項1	目13	事業連番10331	根拠法令	成果優先度評価結果 : ③ コスト削減優先度評価結果 : ⑪			
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	地域づくり団体やNPOの活動に関する相談・支援並びに情報提供を行なう事業で、本市では平成20年12月に「合志市地域づくりネットワーク」(17団体)を発足し、その活動を支援している。(平成27年4月現在 7団体) 上部団体である「火の国未来づくりネットワーク」(平成6年に地域づくり団体熊本県協議会として発足し、平成18年に改名)と連携しており、平成29年3月までに火の国未来づくりネットワークに登録している団体は、まちづくりこうし隊、まちなっとセラヴィ、すずかけ台魅力化委員会、すみっこの台所、NPO法人生ゴミ研究会、杉並台ホテルを育てる会、NPO法人ワークバランス共議会、横町環境みどりの会、NEXT STEPの9団体である。また、熊本県に認証されている合志市内のNPO法人は平成29年3月末で21団体ある。
【業務の流れ】	・火の国未来づくりネットワークの会議等への参加 ・地域づくり団体の会合等への参加・地域づくり研修会への参加 ・合志市地域づくりネットワークの総会、定例会、役員会への参画
【主な予算費目】	職員手当(時間外勤務)、報償費、旅費(普通旅費)、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	会員から、地域づくりネットワークの規約に目的は記載してあるが、より具体的な目標が定まっていない。また、他市町からの団体の参加が少ないとの意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO) ・火の国未来づくりネットワーク、菊池地域ブロックネットワーク、合志市地域づくりネットワークの各種会議の運営・参画を行った。 ・火の国未来づくりネットワーク主催で、第34回地域づくり団体全国研修交流会熊本大会を開催した。		29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・火の国未来づくりネットワーク総会、菊池地域ブロックネットワーク活動支援 ・合志市内地域づくりネットワーク総会、定例会、役員会への参画 ・合志市まちづくり団体等設立支援事業の補助金交付を受けた団体は合志市地域づくりネットワークに加盟することとしている
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア 会議等の開催・参加回数	回	地域づくり団体全国研修交流会香川大会への参加に伴う旅費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 団体	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
地域づくり団体	→ ア 地域づくり団体数	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 団体	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
活動の幅が広がる。	→ ア 市のネットワーク参加団体数	→ イ
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
合志市地域づくりネットワークに登録された団体数により、活動の大きさが把握できるため成果指標とした。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
① 活動指標	ア 回		16	13	20	16	20	20	20	20
	イ									
	イ									
② 対象指標	ア 団体		49	39	45	40	45	45	45	45
	イ									
	イ									
③ 成果指標	ア 団体		7	7	10	10	11	11	11	11
	イ									
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	119	167	154	147	224	246	246
	(A) 事業費計		千円	119	167	154	147	224	246	246
		(A)のうち指定経費	千円	119	105	134	147	134	147	147
		(A)のうち時間外、特勤	千円	79	65	94	107	94	107	107
			千円							
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	人	3	3	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	670	585	175	510	175	175	175
	(B) 人件費計		千円	2,669	2,172	697	0	697	697	697
			千円	2,788	2,339	851	147	921	943	943

事務事業名	地域づくり団体活動支援事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒ 【原因】 合志市地域づくりネットワークは、地域づくり団体やNPO法人の相互交流の場であるため、具体的な事業は定めていない。団体の会員減少等により脱会された団体があり達成していない。加入団体にメリットがないように理解されるため、自発的な活動の支援や市のまちづくりを説いても、加入団体の増加にはつながっていない。
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 平成25年度から自主事業を実施しており、事業PRを行いながら各団体へ参加呼びかけを行っている。また、H27度から地域づくり団体設立支援事業を設立し、10万円を上限として新規設立団体に補助する事業を実施しており、その中で、地域づくりネットワークへの加入が条件となっていることから達成する見込み。 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 平成28年11月に地域づくり全国大会熊本大会を開催したことで、加盟団体相互交流や行政との更なる連携が高まっており、成果向上の余地がある。 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 負担金は、県ネットワークの基準に基づくため削減の余地はないが、研修旅費について削減を行なう。 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務しか行っていないため、削減の余地なし。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 協働によるまちづくり推進のため、公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 規約にも、当分の間企画課が事務局を担うことになっているが、地域づくり団体に市地域づくりネットワークの事務局をお願いすることになれば負担が減るが、現状では地域づくり団体の大きな負担となるため困難である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

合志市地域づくりネットワークの支援を主に行なってきた。平成28年度から、新規加盟団体が3団体あった。平成25年度から、資金作り活動を行い自主事業を開催している。今後も加盟団体が無理をしない程度の事業を実施し、新規加盟団体の掘り起こしを行う必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☒事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【有効性改善】平成28年11月に地域づくり全国大会熊本大会を開催したことで、加盟団体相互交流や行政との更なる連携が高まっており、成果向上の余地がある。 【効率性改善】負担金は、県ネットワークの基準に基づくため削減の余地はないが、研修旅費について削減を行なう。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							